

令和2年4月15日（水）
国土交通省 関東地方整備局
高崎河川国道事務所

記者発表資料

国道17号 ^{しんみくに}新三国トンネル
令和4年春頃に開通します。

国道17号三国防災は、群馬県利根郡みなかみ町羽場から新潟県南魚沼郡湯沢町三国の区間について、急峻な山岳地帯の線形・視距等の局部改良及び老朽橋の架け替え、新三国トンネル等の整備を行い交通の安全確保を目的とする防災事業です。

新三国トンネルにおいては、平成29年8月7日よりトンネル掘削を開始し、令和元年8月8日に貫通したところです。事業の進捗を踏まえ、令和4年春頃の開通を目標に事業を進めて参りますので、お知らせします。

引き続き、工事の安全対策には細心の注意を払いつつ、開通に向け、最大限努力して参りますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

※開通予定区間のトンネル名称は仮称

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、高崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
副所長（技） 山崎 茂（やまざき しげる）
計画課長 榎本 明（えのもと あきら）
電話：027-345-6000（代）

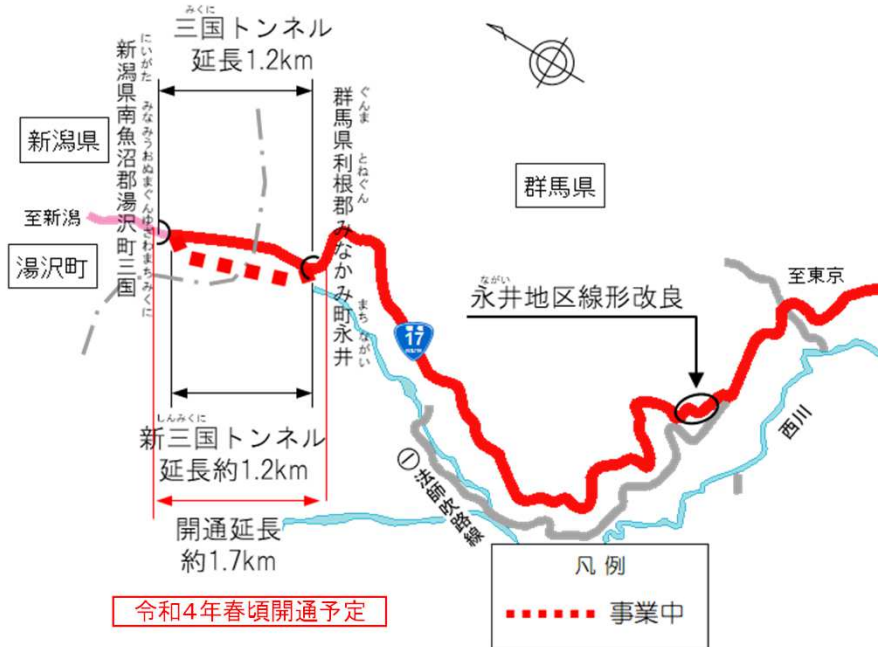
【事業概要と役割】

国道17号は、関東と北陸を結び、幹線道路として機能し産業や文化等の発展に大きな役割を担っております。

また、群馬県と新潟県を境間で車両の通行できる道路は、国道17号と関越自動車道の2路線で、関越自動車道が災害や事故により通行止めとなる際、代替経路となるなど物流や住民生活に不可欠な幹線道路です。

開通区間：群馬県利根郡みなかみ町永井～新潟県南魚沼郡湯沢町三国

延長：約1.7km（うち新三国トンネル延長約1.2km）



現在の三国トンネルは、トンネルの完成から約60年以上が経過。



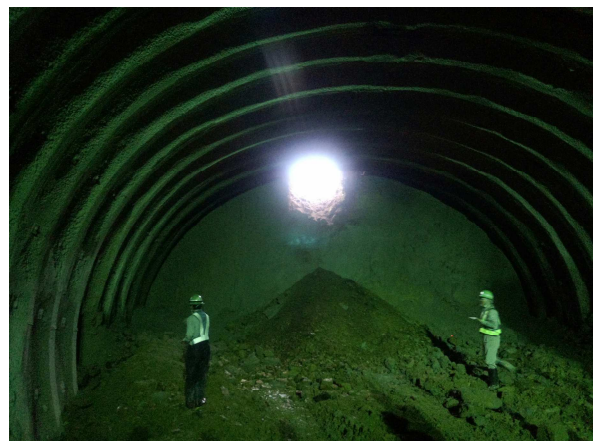
大型車のすれ違い状況

大型車による
覆工の擦り状況

— 三国トンネル（現トンネル）の状況 —



— 新三国トンネルの施工状況 —



— 新三国トンネルの貫通状況 —

※開通予定区間のトンネル名称は仮称 (2/2)